



品川区精神保健福祉家族会 かもめ会
東京都議会議員選挙 予定候補者アンケート

2025 年 6 月 10 日現在

- | | |
|---------------|-----------|
| ・岡本さとし様（新人） | p 1 ～ 3 |
| ・伊藤こういち様（現職） | p 4 ～ 5 |
| ・岡本ゆうじ様（新人） | p 6 ～ 7 |
| ・しのはらりか様（現職） | p 8 ～ 9 |
| ・白石たみお様（現職） | p 10 ～ 11 |
| ・ひがしゆき様（新人） | p 12 ～ 13 |
| ・石田しんご様（新人） | p 14 ～ 15 |
| ・せりざわ裕次郎様（新人） | p 16 ～ 17 |

（回答受領順）

かもめ会 都議会への要望

- ・ 精神障害者保健福祉手帳1級所持者はマル障が適用となり**医療費の自己負担**がなくなっています。しかし2級者や3級者については自立支援医療の利用者が多く精神医療については自己負担がないものの、それ以外の疾病について3割負担であるため負担感が強く感じられています。1級者とのバランスを考えて2割負担または1割負担に軽減するように要望いたします。
- ・ 廃止になった**東京都障害者扶養年金制度**を復活してください。民間の制度もできていますが公的な補助を加えた制度を再度整備するようお願いいたします。
- ・ 東京都立中部総合精神保健福祉センター等で以前運営されていた、精神科病院退院後の社会復帰のための生活訓練施設「**ホステル**」を再開してください。現在は都のアウトリーチ事業の利用者にのみ6週間のショートステイが行われている現状ですが、長期入院後の社会復帰を容易にするためにも「ホステル」の再開を検討するようお願いいたします。
- ・ 都内グループホームの個室の**基準床面積**は4.73平米(四畳半相当)ですが憲法25条に保証する最低限度の文化的生活も不可能な狭さです。基準床面積を六畳以上に広げるようお願いいたします。
- ・ 八王子の**滝山病院事件**の原因と解決法を検証し当事者の人権を守るための指導をお願いいたします。

2024年度「かもめ会の要望レジメ」4ページより転載

お名前：岡本さとし

質問 1

今年 6 月の都議会議員選挙に立候補されるご意向でしょうか？ 以下のいずれかに○をおつけください。「未定またはご予定なし」の場合、質問 2 以下のご回答は結構です。

立候補予定またはご検討中

・

未定またはご予定なし

(政党派名：都民ファーストの会)

質問 2

「かもめ会の要望レジメ」4 ページ目掲載の「都議会への要望」をご参照いただき、予定候補者として今後取り組んでいきたいとお感じになる順に、各項目左側 () 内に 1~5 までの数字をお書きください。

(4) 精神障害者保健福祉手帳の医療費負担の見直し

【別紙レジメ 都議会への要望①】

(2) 廃止された東京都障害者扶養年金制度の復活

【別紙レジメ 都議会への要望②】

(5) 東京都立中部総合精神保健福祉センター「ホステル」の再開

【別紙レジメ 都議会への要望③】

(3) 都内障害者グループホームの基準床面積の見直し

【別紙レジメ 都議会への要望④】

(1) 八王子の旧滝山病院事件の原因究明と再発防止

【別紙レジメ 都議会への要望⑤】

お名前：岡本さとし

質問 3

東京都の精神保健福祉への思いや、八王子の旧滝山病院事件へのご見解、精神保健福祉向上のために取り込んでいきたいとお考えになっていること、また「かもめ会の要望レジメ」をご覧いただきのご意見・ご感想などございましたら、以下にご記入をお願いいたします。

アンケートいただきまして、ありがとうございました。

東京都における精神保健福祉の在り方は、今まさに大きな転換点を迎えていると感じています。高齢化や孤立、地域移行、各制度の谷間によって、精神に困難を抱える方々が直面する現実はいまだに依然として厳しいものがあります。私自身は、東京都の精神保健福祉の向上は「誰もが尊厳を持って暮らせる東京」への第一歩であり、都政が真正面から取り組むべき課題だと考えています。

八王子の旧滝山病院事件については衝撃的で、強い問題意識を持っております。介護職員による虐待、そして「死亡退院」という表現で覆い隠された人権侵害。こうした現実が、今なお医療現場の一部で起きていることに、都として明確な対応が求められています。たとえ民間病院であっても、東京都には「人の命と尊厳を守る」責任があります。原因の検証、実態調査、再発防止策の強化、そして人権教育や現場支援のあり方まで含め、都議会からも継続的に取り組んでいきます。

また、都議会への要望について優先順位をつけましたがその理由について以下で簡潔に回答させていただきます。

（ １ ） 八王子の旧滝山病院事件の原因究明と再発防止

上記でも回答差し上げましたが、東京都としても命と尊厳を守る姿勢を明確に示す必要があります。東京都として実態の把握と監査、そして人権教育の徹底は避けて通れません。最も優先して取り組むべき課題だと認識しています。

（ ２ ） 廃止された東京都障害者扶養年金制度の復活

高齢化が進む今、障害のある子を抱える家庭の不安は増す一方です。民間制度では補いきれない公的な安心をもう一度形にしてほしい。制度廃止の経緯や財源の制約という壁はありますが、将来への備えを支えるための民間+公的な補助などの体制の再構築が求められると考えています。

（ 3 ） 都内障害者グループホームの基準床面積の見直し

精神に困難を抱えている方々が安心して生活するには4畳程度の面積は狭い、逆に不安を煽るような基準になりかねないと考えています。懸念としては物価高の状況で施設整備をさらに増加させることで財源的な負担の増加がございますが、最低限度の文化的な生活を保障するという憲法の理念に照らしても、環境整備は必要かと存じます。

（ 4 ） 精神障害者保健福祉手帳の医療費負担の見直し

この問題については、さまざまな観点から丁寧に議論を進めていく必要があると認識しています。たとえば財源の面では、医療費助成の対象を拡大するには東京都の予算措置が不可欠であり、2級・3級の対象者数は1級よりも圧倒的に多いため、財政負担は大きくなります。また、公平性の観点からは、身体障害や知的障害など他の等級制度とのバランスが保たれているかどうか慎重な検討が求められます。

ただ、こうした制度上の課題がある一方で、「等級」という形式的な区分が、現実には深刻な不平等を生んでいることもまた事実です。医療へのアクセスという基本的な権利が制限されている現状は、決して看過できるものではありません。

とはいえ、今回のご要望の中では上記順位1～3のように、人権侵害の緊急性や住環境の劣悪さといった、命や生活の基盤に直結する課題を優先すべきと判断し、この課題を4番目の位置づけとさせていただきました。もちろん、医療費負担の格差は正が不要だとは考えておりません。むしろ、都の福祉政策の中で将来的に取り組むべき重要な課題であると考えています。優先順位をつけたのは、限られたリソースの中で、まずは緊急度の高い課題から着実に前進させるための判断に他なりません。

制度的な壁があるからこそ、その必要性を丁寧に訴えながら、段階的な見直しに向けて取り組んでまいります。

（ 5 ） 東京都立中部総合精神保健福祉センター「ホステル」の再開

「東京都立中部総合精神保健福祉センターにおける『ホステル』の再開」は、長期入院を経た方が地域での生活に移行するための中間的なステップとして、非常に重要な支援施策です。退院後すぐに自立した生活を求められることが現実的でないケースも多く、ホステルのような生活訓練施設の必要性は、現場の声として強く届いています。しかし、今回のご要望の中ではこの課題を優先順位の5番目とさせていただきました。その理由は、まず対象が限定的であることが挙げられます。ホステルの利用は、長期入院後の特定の方に限られており、例えばグループホームの基準見直しや医療費助成のように、より広範な層に直結する支援とは影響の範囲が異なります。

また、他の要望は、より即時性・緊急性を伴う課題であり、影響を受ける人数も多いことから、優先順位を上位とさせていただきました。とはいえ、ホステルのような中間支援の場が失われていることは、精神保健福祉の現場にとって深刻な損失です。地域生活への「橋渡し」が不在であることは、再入院のリスクや孤立の増大につながりかねません。だからこそ私は優先順位が5番目であっても、この課題を軽視することなく、段階的な制度復活やモデル事業の導入など、現実的なアプローチを模索して参ります。

ご連絡いただき、ありがとうございました。

お名前： 伊藤 こういち

質問 1

今年6月の都議会議員選挙に立候補されるご意向でしょうか？ 以下のいずれかに○をおつけください。「未定またはご予定なし」の場合、質問2以下のご回答は結構です。

○ 立候補予定またはご検討中 未定またはご予定なし
(政党派名： 公明党 / 無所属)

質問 2

同封の「かもめ会の要望レジメ」4 ページ目掲載の「都議会への要望」をご参照いただき、予定候補者として今後取り組んでいきたいとお感じになる順に、各項目左側（ ）内に 1～5 までの数字 をお書きください。

- (1) 精神障害者保健福祉手帳の医療費負担の見直し
【別紙レジメ 都議会への要望①】
- (2) 廃止された東京都障害者扶養年金制度の復活
【別紙レジメ 都議会への要望②】
- (3) 東京都立中部総合精神保健福祉センター「ホステル」の再開
【別紙レジメ 都議会への要望③】
- (4) 都内障害者グループホームの基準床面積の見直し
【別紙レジメ 都議会への要望④】
- (5) 八王子の旧滝山病院事件の原因究明と再発防止
【別紙レジメ 都議会への要望⑤】

お名前： 伊藤 こういち

質問3

東京都の精神保健福祉への思いや、八王子の旧滝山病院事件へのご見解、精神保健福祉向上のために取り込んでいきたいとお考えになっていること、また「かもめ会の要望レジメ」をご覧いただいてのご意見・ご感想などございましたら、以下にご記入をお願いいたします。

当事者. ご家族にとり. 切実な要望であると
思ます。 前進できよう. 取り組んで参ります。

ご協力、誠にありがとうございました。

お名前： 岡本 ゆうじ

質問 1

今年6月の都議会議員選挙に立候補されるご意向でしょうか？ 以下のいずれかに○をおつけください。「未定またはご予定なし」の場合、質問2以下のご回答は結構です。

立候補予定またはご検討中

・

未定またはご予定なし

(政党派名：再生の道)

質問 2

添付の「かもめ会の要望レジメ」4 ページ目掲載の「都議会への要望」をご参照いただき、予定候補者として今後取り組んでいきたいとお感じになる順に、各項目左側()内に1～5までの数字をお書きください。

(2) 精神障害者保健福祉手帳の医療費負担の見直し

【別紙レジメ 都議会への要望①】

(4) 廃止された東京都障害者扶養年金制度の復活

【別紙レジメ 都議会への要望②】

(5) 東京都立中部総合精神保健福祉センター「ホステル」の再開

【別紙レジメ 都議会への要望③】

(3) 都内障害者グループホームの基準床面積の見直し

【別紙レジメ 都議会への要望④】

(1) 八王子の旧滝山病院事件の原因究明と再発防止

【別紙レジメ 都議会への要望⑤】

お名前： 岡本 ゆうじ

質問3

東京都の精神保健福祉への思いや、八王子の旧滝山病院事件へのご見解、精神保健福祉向上のために取り込んでいきたいとお考えになっていること、また「かもめ会の要望レジメ」をご覧いただきのご意見・ご感想などございましたら、以下にご記入をお願いいたします。

この度は、精神保健福祉に関する貴重なご意見・ご要望をお寄せいただき、誠にありがとうございます。私自身、まだこの分野について学ぶべきことの多い立場ではありますが、「かもめ会」の皆さまの資料から、精神障害のある方々が日々直面されている切実な課題、そして制度の隙間に置かれがちな現実を強く感じさせていただきました。

八王子の旧滝山病院事件は、精神科医療における人権の軽視が深刻な結果をもたらした痛ましい出来事でした。このような事件が二度と起こらないよう、東京都は医療機関への監査体制を強化し、当事者の権利を守る仕組みを再構築する必要があります。福祉の充実には制度整備だけでなく、「人間を信頼する」という価値観が土台にならないと痛感しています。

「かもめ会」のご要望の中で、医療費の自己負担軽減、グループホームの居住環境の改善、生活訓練施設の再開といった提案は、どれも現場のニーズに根ざした重要なご指摘だと感じました。今後、このような現場の声から学び、地域と都政をつなげる役割を担っていけるよう取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

ご協力、誠にありがとうございました。

お名前： しのはら りか

質問 1

今年 6 月の都議会議員選挙に立候補されるご意向でしょうか？ 以下のいずれかに○をおつけください。「未定またはご予定なし」の場合、質問 2 以下のご回答は結構です。

立候補予定またはご検討中 ・ 未定またはご予定なし
(政党派名： 無所属)

質問 2

添付の「かもめ会の要望レジメ」4 ページ目掲載の「都議会への要望」をご参照いただき、予定候補者として今後取り組んでいきたいとお感じになる順に、各項目左側（ ）内に 1～5 までの数字をお書きください。

- (2) 精神障害者保健福祉手帳の医療費負担の見直し
【別紙レジメ 都議会への要望①】
- (5) 廃止された東京都障害者扶養年金制度の復活
【別紙レジメ 都議会への要望②】
- (3) 東京都立中部総合精神保健福祉センター「ホステル」の再開
【別紙レジメ 都議会への要望③】
- (4) 都内障害者グループホームの基準床面積の見直し
【別紙レジメ 都議会への要望④】
- (1) 八王子の旧滝山病院事件の原因究明と再発防止
【別紙レジメ 都議会への要望⑤】

お名前： しのはら りか

質問 3

東京都の精神保健福祉への思いや、八王子の旧滝山病院事件へのご見解、精神保健福祉向上のために取り込んでいきたいとお考えになっていること、また「かもめ会の要望レジメ」をご覧いただきのご意見・ご感想などございましたら、以下にご記入をお願いいたします。

(回答)

ご提示いただいた要望はいずれも切実なもので、昨年 7 月の当選以降、精神障害者の方の「社会的入院」解消のための円滑な地域移行に関する事業について、都に質問を通じ要望を行うなど、取り組んでまいりました。

滝山病院事件については、全国の精神科病院で類似の虐待事件が繰り返されており、これは個別の問題ではなく日本の医療・福祉行政が抱える構造的な問題として対処すべきと考えています。

また、いざというときに民間救急車を呼ばざるを得ず、多額の費用がかかってしまう実態について、民間移送に頼らずに医療につながることができる救急体制についても進めていく必要があります。

さらには、身体合併症のある方の医療提供体制の確保も重要な課題として認識しております。

私自身、医療的ケアの必要な重症心身障害児を育てる親であり、障がいの種類は違えど自分事として捉えています。かもめ会の皆さまに寄り添い、障がい当事者やその家族が安心して無理なく望む生活を送っていける、やさしい社会の実現に向けて引き続き活動して参ります。

ご協力、誠にありがとうございました。

お名前： 白石 たみ お

質問 1

今年6月の都議会議員選挙に立候補されるご意向でしょうか？ 以下のいずれかに○をおつけください。「未定またはご予定なし」の場合、質問2以下のご回答は結構です。

立候補予定またはご検討中 未定またはご予定なし
(政党派名： 日本共産党 / 無所属)

質問 2

同封の「かもめ会の要望レジメ」4 ページ目掲載の「都議会への要望」をご参照いただき、予定候補者として今後取り組んでいきたいと感じになる順に、各項目左側（ ）内に1～5までの数字をお書きください。

- (/) 精神障害者保健福祉手帳の医療費負担の見直し
【別紙レジメ 都議会への要望①】
- (2) 廃止された東京都障害者扶養年金制度の復活
【別紙レジメ 都議会への要望②】
- (4) 東京都立中部総合精神保健福祉センター「ホステル」の再開
【別紙レジメ 都議会への要望③】
- (3) 都内障害者グループホームの基準床面積の見直し
【別紙レジメ 都議会への要望④】
- (5) 八王子の旧滝山病院事件の原因究明と再発防止
【別紙レジメ 都議会への要望⑤】

お名前：

石 ともみ

かもめ会
アンケート用紙

質問 3

東京都の精神保健福祉への思いや、八王子の旧滝山病院事件へのご見解、精神保健福祉向上のために取り込んでいきたいとお考えになっていること、また「かもめ会の要望レジメ」をご覧いただきのご意見・ご感想などございましたら、以下にご記入をお願いします。

<滝山病院について>

診療報酬の低い精神身体合併症患者の受け入れ先が、非常に少ないという問題があります。実際に滝山病院の事件発覚後、血液透析が必要な患者の転院先を探しても、なかなか進まなかったのが現状です。

全国最大の精神科病院の都立松沢病院元院長から直接お話を伺うと、「医療関係者は滝山病院がどういう病院かということは、以前からみんなが知っていた。」「精神身体合併症の中でも、血液透析が行える医療機関はとりわけ限られている。滝山病院が問題のある病院だとわかっていても、お願いせざるを得ないのが現実だった。」「都立病院が体制を強化して整備するべき」と話されました。

人手を多く必要とする不採算医療は、民間任せにするのではなく、都立病院が積極的に担うべきであると繰り返し都議会で求めてきました。都は求めに応じ、人工透析の必要な患者が入院した場合、人工透析ができる病院への搬送、移送にかかる費用を補助する予算を計上しましたが、構造的な問題は解決していません。都立病院の拡充・強化を求めています。

<地域の精神保健福祉の充実>

いまだに精神障害者に対する偏見は根強くあります。その責任の大部分は政治にあります。統合失調症は早くで中学生くらいで発症すると言われていきます。早期発見・早期治療には精神疾患への正しい理解が必要です。精神疾患に関する理解を深める授業など、若いうちから学べる環境を作るべきだと考えます。

本来、どこで誰と暮らすかを選んで決められる権利が、全ての人にあります。しかし、障害者が生活する場の選択肢は少なく、「選択した」というより「選ばざるを得ない」という現実があります。この現状を変えるため、施設やグループホームの増設、家賃補助や都営住宅の新規建設などを求めています。また、障害者医療費助成制度の対象拡大など、障害者の医療と住まい、人権を守り、抜本的に拡充するため全力を尽くします。

お名前： ひがしゆき

質問 1

今年 6 月の都議会議員選挙に立候補されるご意向でしょうか？ 以下のいずれかに○をおつけください。「未定またはご予定なし」の場合、質問 2 以下のご回答は結構です。

立候補予定 またはご検討中 ・ 未定またはご予定なし
(政党会派名：立憲民主党)

質問 2

添付の「かもめ会の要望レジメ」4 ページ目掲載の「都議会への要望」をご参照いただき、予定候補者として今後取り組んでいきたいとお感じになる順に、各項目左側（ ）内に1～5 までの数字をお書きください。

- (④) 精神障害者保健福祉手帳の医療費負担の見直し
【別紙レジメ 都議会への要望①】
- (⑤) 廃止された東京都障害者扶養年金制度の復活
【別紙レジメ 都議会への要望②】
- (①) 東京都立中部総合精神保健福祉センター「ホステル」の再開
【別紙レジメ 都議会への要望③】
- (②) 都内障害者グループホームの基準床面積の見直し
【別紙レジメ 都議会への要望④】
- (③) 八王子の旧滝山病院事件の原因究明と再発防止
【別紙レジメ 都議会への要望⑤】

お名前： ひがしゆき

質問3

東京都の精神保健福祉への思いや、八王子の旧滝山病院事件へのご見解、精神保健福祉向上のために取り込んでいきたいとお考えになっていること、また「かもめ会の要望レジメ」をご覧いただきのご意見・ご感想などございましたら、以下にご記入をお願いいたします。

私自身、病院で看護師として働いてきたひとりとして、旧滝山病院で起きた事件は非常に重く受け止めています。患者さんに対して行われていた虐待行為は、どんな理由があっても決して許されるものではなく、新体制での運営がどのように進んでいるのかにも注目しています。ただ、これまでも全国で同様の問題が起きてきたことを考えると、やはり日本の精神科医療そのものを見直していく必要があると強く感じています。

精神科特例の問題はもちろん、ご要望の中にも触れられているように、地域の中に精神科のクリニックやグループホーム、生活援助にかかわる様々な支援が十分に整っていないために、本来であれば地域で暮らせるはずの方々が、病院に長くとどまらざるを得ない「社会的入院」が続いてしまっているのです。こうした精神保健福祉の構造的な課題に、包括的に取り組んでいく必要があります。

私の先輩である前東京都議会議員の阿部祐美子衆議院議員も、都議時代から精神分野の課題に熱心に取り組んできました。私もその思いを受け継ぎ、国と都が連携して、誰もが安心して地域で暮らせる精神保健医療福祉の実現に向けて、しっかり取り組んでまいります。

ご協力、誠にありがとうございました。

お名前: 石田 しんこ

かもめ会
アンケート用紙

質問 1

今年6月の都議会議員選挙に立候補されるご意向でしょうか？ 以下のいずれかに○をおつけください。「未定またはご予定なし」の場合、質問2以下のご回答は結構です。

立候補予定またはご検討中
(政党派名: 国民民主党 / 無所属) 未定またはご予定なし

質問 2

同封の「かもめ会の要望レジメ」4 ページ目掲載の「都議会への要望」をご参照いただき、予定候補者として今後取り組んでいきたいとお感じになる順に、各項目左側()内に1~5までの数字をお書きください。

- (/) 精神障害者保健福祉手帳の医療費負担の見直し
【別紙レジメ 都議会への要望①】
- (<) 廃止された東京都障害者扶養年金制度の復活
【別紙レジメ 都議会への要望②】
- (×) 東京都立中部総合精神保健福祉センター「ホステル」の再開
【別紙レジメ 都議会への要望③】
- (3) 都内障害者グループホームの基準床面積の見直し
【別紙レジメ 都議会への要望④】
- (5) 八王子の旧滝山病院事件の原因究明と再発防止
【別紙レジメ 都議会への要望⑤】

お名前: 石川 しのぶ

かもめ会
アンケート用紙

質問3

東京都の精神保健福祉への思いや、八王子の旧滝山病院事件へのご見解、精神保健福祉向上のために取り込んでいきたいとお考えになっていること、また「かもめ会の要望レジメ」をご覧いただいたのご意見・ご感想などございましたら、以下にご記入をお願いいたします。

障害者支援等については、所得制限の撤廃と
はじめ負担軽減を図ってほしいと思います。

また、教育の充実として社会全体の理解の向上にも
取り組んでほしいです。

皆様への声かたがたに答えることができるといいと思います。

石川 しのぶ

ご協力、誠にありがとうございました。

お名前： せりざわ裕次郎

質問 1

今年 6 月の都議会議員選挙に立候補されるご意向でしょうか？ 以下のいずれかに○をおつけください。「未定またはご予定なし」の場合、質問 2 以下のご回答は結構です。

立候補予定またはご検討中 ・ 未定またはご予定なし
(政党派名：自由民主党 / 無所属)

質問 2

添付の「かもめ会の要望レジメ」4 ページ目掲載の「都議会への要望」をご参照いただき、予定候補者として今後取り組んでいきたいとお感じになる順に、各項目左側（ ）内に 1～5 までの数字をお書きください。

- (1) 精神障害者保健福祉手帳の医療費負担の見直し
【別紙レジメ 都議会への要望①】
- (2) 廃止された東京都障害者扶養年金制度の復活
【別紙レジメ 都議会への要望②】
- (3) 東京都立中部総合精神保健福祉センター「ホステル」の再開
【別紙レジメ 都議会への要望③】
- (4) 都内障害者グループホームの基準床面積の見直し
【別紙レジメ 都議会への要望④】
- (5) 八王子の旧滝山病院事件の原因究明と再発防止
【別紙レジメ 都議会への要望⑤】

お名前： せりざわ裕次郎

質問 3

東京都の精神保健福祉への思いや、八王子の旧滝山病院事件へのご見解、精神保健福祉向上のために取り込んでいきたいとお考えになっていること、また「かもめ会の要望レジメ」をご覧いただいてのご意見・ご感想などございましたら、以下にご記入をお願いいたします。

皆様には区議会議員時代にも大変お世話になりました。

政調会長としても実現できた項目より、実現できなかった項目が多かったと思います。ただ庄田会長はじめ、会のみなさんと3期にわたって結んできた絆は東京で必ず生きてくると確信しています。

特に、精神保健福祉の分野は区の予算では限りがあり、都で進めるべき予算も多数あります。

ぜひ引き続き声をお寄せいただき、東京で解決に向けて全力で取り組ませてください。この度もありがとうございました。

ご協力、誠にありがとうございました。

ー編集後記ー



6月22日(日)は、4年に一度となる都議会議員選挙の投票日です。「品川区精神保健福祉家族会 かもめ会」ではこのたび予定候補者の皆さま方へ、精神保健福祉への思いをお尋ねするアンケートをお送りし、本日までに頂くことができたご回答を、原文のまま本誌に掲載いたしました。掲載は当会にてご回答を受領した順となっています。

お忙しい中ご回答をお送りくださった予定候補者の皆さま方、誠にありがとうございました。新しい都議会議員の皆さまがリードしていかれる品川に、かもめ会としても大変期待を寄せているところです。引き続き品川区の精神保健福祉向上のため、ご指導ご鞭撻賜りますようよろしくお願い申し上げます。